

# Brief AKIMOTO HOSPITAL Letter

秋本病院ブリーフレター

'05 OCT.vol. 32

■Opened type hospital p.1~3

一患者さまが安心できる医療を実現  
秋本病院は「開放型病院」です

■スタッフレポート p.4

第24回福岡救急医学会での  
発表を終えて 看護師 荒木 淳

■ソーシャルワーカーの仕事 p.4

「福祉の専門家」として  
医療の悩みの解決を図る

■千一夜医話 p.5

ーたまには優しくいたわってー  
胃袋のおはなし

■くすりの話 p.6

薬局や薬店でお薬を買うときには…

■スタッフの横顔 p.6

総務部長 山本 道男・看護師 田中 知里

九州場所がやってくる

■巻頭エッセイ

博多の町に力士の姿が見られる季節となった。

11月初めの九州場所は、博多っ子にとって秋から冬への季節の移り変わりを告げる風物詩的存在だ。当院と大相撲との関わりは深く、昭和32年に九州場所が準場所としてスタートして以来、「日本相撲協会指定病院」として、新弟子検査や場所中の医務室へのスタッフの派遣を行ってきた。

各場所前に行われる新弟子検査は、力士の卵の第一関門。身長173センチメートル、体重75キログラム以上でないと入門が許されないため、当人はもちろん、親方や兄弟子にとっても緊張の一瞬となる。先場所、ヨーロッパ勢初の優勝をかけて善戦し、注目を集めた琴欧洲関も当院で新弟子検査を受けた一人。ご存知の通りの長身の青年で、2メートルの身長計では目盛りが足りず、30センチのものさしを足して計測したことを思い出す。

九州場所が始まると、会場内の医務室での対応が指定病院の大切な仕事となる。2名の看護師が、朝9時から夕方6時の打ち出しまで待機して応急処置にあたる。激しいスポーツなだけに、小さなケガは日常茶飯事。体が資本の力士たちが存分に活躍できるよう、医務室のスタッフにとっても気の抜けない15日間となる。

福岡スポーツセンターから九電記念体育館、そして、現在の国際センターへと会場は変わったが、勝負にかける力士の姿は、いつの時代も変わらない。今場所も数々の好取組みを期待すると同時に、どの力士もケガなく千秋楽を迎えてほしいと願うばかりだ。



開放型病院システムで  
地域医療連携を促進します

# Opened type hospital

かかりつけ医と専門医による共同診療で、安心と信頼の医療を実現

## 秋本病院は「開放型病院」です。

2005五年8月1日、秋本病院は「開放型病院」の認可を受け、登録医の先生方との共同診療をスタートしました。地域医療連携を促進し、患者さまにとつてもメリットの多いこのシステムについてご紹介します。

### ●一貫した治療を可能にする 開放型病院のシステム

「開放型病院」とは、病院の施設や機能を開放し、患者さまのかかりつけ医（登録医）の先生方に利用していただくシステムです。

私たちが病気になると、一般的にはかかりつけ医に診てもらい、専門的な治療や入院が必要であれば専門医に紹介してもらいます。この場合、担当医はかかりつけ医から専門医にバトンタッチされますが、「開放型病院」では、かかりつけ医が専門医と情報を共有しながら、協力して診療にあたることができます。

かかりつけ医が診療にあたることで一貫した治療が可能になりますし、患者さまにとつても、「日頃のかかりつけ医が継続して診てくれている」という安心につながります。

### ●患者さまの安心につながる 地域医療連携

かかりつけ医が患者さまの症状に応じて専門医を紹介するという「医療連携」は、これまでにも行われてきたことです。しかし、かかりつけ医（登録医）と病院での診療を継続的に行う「開放型病院システム」を利用することで、地域の医療連携がさらに密になります。高品質で一貫性のある医療の提供が可能になります。実際、当院の患者さまからも、「安心感が違う」という声が聞かれています。

秋本病院では、今後も登録医拡充を含め、患者さまの利益につながる「地域医療連携」を積極的に推進していきます。

#### ★地域医療連携（病診連携）の流れ――入院治療の場合――

かかりつけ医（登録医）の紹介で、開放型病床に入院

担当医とかかりつけ医による共同診療

退院後は引き続き、かかりつけ医で経過を観察



## ★開放型病院における共同指導

開放型病院

### 秋本病院

開放型病院とは、厚生労働大臣が定める施設基準を満たし、都道府県知事に承認を得た保険医療機関です。このシステムを利用するには、かかりつけ医の先生方と病院の間で事前の登録が必要になります。2005年9月現在、秋本病院の登録医は26名(26医療機関)となっています。

登録医

### かかりつけ医

かかりつけ医とは、体の具合が悪いとき、第一に診療を受ける身近な医師のことです。これまでの病歴や体質、何の薬を飲んでいるなどを把握しているので、病状に応じた医療が受けられ、適切な専門医も紹介してくれます。生活習慣の問題点など細かいことも気軽に相談でき、疾病の予防や健康増進にもつながります。

## 患者さま

安心  
信頼



患者さまが安心できる医療を実現



実際には、これまでにも行われてき  
た「医療連携」ですが、きちんと制度  
化することで、医療従事者の意識も  
大きく変わってきてています。



秋本病院 院長  
秋本 亮一

# Opened type hospital

## ●秋本病院「開放型病院」登録医療機関 (2005年9月30日現在)

医療機関名	院長	住所
高橋循環器科・内科医院	高橋 長海	福岡市中央区大名1-15-31
薬院ひ尿器科病院	宮崎 良春	福岡市中央区薬院2-5-20
たけとみクリニック	武富 賢治	福岡市中央区笹丘1-11-13 笹丘平和ビル
松本整形外科医院	松本 光司	福岡市中央区笹丘1-34-2
緒方良神経科クリニック	緒方 良	福岡市天神2-13-17恒松ビル9階
うえのやま整形外科リウマチ科	上野山 和秀	福岡市南区鶴田4-8-5
柴田メンタルクリニック	柴田 史朗	小郡市祇園1-14-8山野内ビル2F
木村眼科クリニック	木村 一賢	福岡市中央区赤坂1-10-23 グレースイン赤坂ビル
模木医院	模木 康弘	福岡市南区三宅1-13-16
クリスタルビルクリニック	塩飽 徳行	福岡市中央区天神4-6-7 天神クリスタルビル
西田たみお整形外科医院	西田 民夫	福岡市早良区南庄2-5-23
山崎内科クリニック	山崎 節	福岡市南区高宮3-19-5
岡部・浦川クリニック	浦川 周一	福岡市中央区薬院2-13-10 ルブラン薬院
御所ヶ谷ホームクリニック	田中 耕太郎	福岡市中央区御所ヶ谷92-2
権藤内科医院	権藤 公和	福岡市中央区今泉2-5-24
アイブイエフ詠田クリニック	詠田 由美	福岡市中央区天神3-10-11 天神五十君ビル
安田クリニック	安田 光男	福岡市東区舞松原1-14-82
あんのうら整形外科クリニック	案浦 聖凡	福岡市早良区曙2-1-11
うめい内科医院	梅井 利彦	福岡市早良区昭代3-5-15
迎医院	迎 利彦	福岡市早良区南庄2-17-7
サトウ歯科医院	佐藤 公彦	福岡市中央区大名1-12-62
秋本歯科医院	秋本 啓治	福岡市中央区警固2-2-15
にのさかクリニック	ニノ坂 保喜	福岡市早良区野芥4-45-55
野村クリニック	野村 正一郎	福岡市中央区警固1-6-20
山崎クリニック	山崎 宏一	福岡市中央区大名2-1-35 トライエント山崎ビル4F
むかい歯科医院	向井 博邦	福岡市中央区高砂1-1-29 KFビル1F

### ■開放型病院の登録医手続きは

地域医療連携担当 企画室長(MSW) : 内田浩穂まで

ご質問やご不明な点がありましたら、いつでもお気軽にご連絡ください。

## 第24回福岡救急医学会での発表を終えて

2005年9月10日、第24回福岡救急医学会が北九州市八幡西区の産業医科大学・ラマツィーニホールで開催されました。年に一度、症例・看護研究などの発表・報告の場となる学会で、医師・看護師・救急救命士など多くの演題を発表します。今回は「福岡県西方沖地震」というセッションが設けられ、私は当日の救急患者さまの状況を報告しました。ここで内容を少し紹介いたします。

- 当日の受診患者数が66名、その内入院患者数が10名であったこと。
- 挫創・切創や骨折、熱傷例が多くみられ、処置室・待合室を含めて広いスペースで処置を行ったこと。
- 医療機器には損害がなく、自主的に出勤したスタッフのマンパワーで多くの患者さまの診療ができたこと。



看護師

荒木 淳

あらき じゅん



振り返ってみても、あのような緊急時に地域医療に貢献できたことは、一スタッフとしても嬉しく貴重な体験でした。また、コンピュータープレゼンテーション用スライド作成などもとても楽しく、多くのことを学びました。

しかし当日、院長のマイカーで看護部長・外来主任と共に北九州へ向かう車中では、ドライブ気分とはいきません。プレッシャーから胃薬をバッグにしのばせ、「間に合わなければいいのになあ～」と往生際の悪い私でしたが、発表も無事(?)終了。やはり、人間生涯学習ですね。一つ一つの経験が自己を育ててくれると感じました。

このような場を与えて下さった院長はじめ、ご協力頂いた外来主任・看護部長・スタッフの皆さん、本当にありがとうございました。

みなさんは、ソーシャルワーカー(SW)という職業をご存知ですか？

ソーシャルワーカー(SW)とは、困っている人から相談を受け、その人にとっての人生がよい方向に向かうように支援(援助)する仕事です。学問的には社会福祉学を基礎とし、社会福祉・児童福祉・障害者福祉・老人福祉・精神保健福祉・精神保健学・精神科リハビリテーション学・精神医学・医学・社会保障・公的扶助・地域福祉・心理学・法学・社会学・介護・社会福祉及び精神保健福祉援助技術などの専門知識と技術を駆使して支援を行います。ソーシャルワーカー(SW)の資格は、いずれも国家資格の社会福祉士と精神保健福祉士があります。

職場は福祉や医療の現場が多く、日本の医療機関で働く場合は医療ソーシャルワーカー(MSW)や精神科ソーシャルワーカー(PSW)と呼びます。MSWは、どこの病院にもいるわけではないのですが、近年は配置する病院が増えています。



企画室長  
医療ソーシャルワーカー  
社会福祉士・介護支援専門員

内田 浩穎

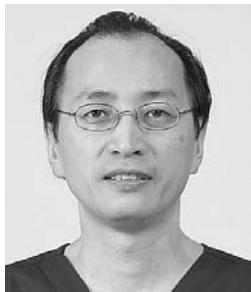
うちだ ひろとし

## ソーシャルワーカーのしごと

「福祉の専門家」として医療の悩みの解決を図る

医療機関での仕事は、最近では地域医療連携(入・転院の相談窓口など)の仕事も多くなっていますが、業務の中心は療養中の患者さまやご家族の心理的・社会的問題の解決や調整援助、退院援助、社会復帰援助、受診受療援助、経済的問題の解決や調整援助、地域活動などです。具体的には、「退院と言われたが家に帰る自信がない」「病気やケガで障害が残り生活ができるのか不安」「入院中の医療費や退院後の生活費がない」「転院や施設入所の仕方がわからない」「家族介護で途方に暮れている」「家庭内暴力や虐待で苦しんでいる」「認知症等で契約行為ができない」など、多岐にわたる相談に対応します。

当院では私が最初のMSWですが、最近少しづつ相談件数が増えてきました。お受けした相談の秘密は守りますので、ご相談があればどうぞ安心してお気軽にお声をおかけください。



# —たまには優しくいたわって— 胃袋のおはなし

院長  
秋本 亮一

「胃」はお腹の上のほう、みぞおちとおへその間のやや左寄りにある袋状の臓器です。入り口は食道から、出口は十二指腸につながっています。容量は約1.5リットルですが、これには個人差がけつあります。ちなみに、興味本位のテレビ局が大食い競争を番組にして「完食！」などとやっていますが、あのような方は、食べたものが胃に溜まらず、そのまま腸に流れていると思われます。

## ■ 胃の大きさ

食欲の秋ですね。おいしくものが食べられるとき、私たちはこの上なく幸せを感じます。そのせいか、テレビをつけると必ずといっていいほど「グルメ番組が目に飛び込んできます。おいしそうにいただくレポーターさんの」コメントは、「食材」「色合い」「味」「食感」「のど越し」のことばかり。残念ながら、おいしく食事を食べるためにはいちばん頑張っている「胃」に対するいたわりの言葉はありません。健常なときは「胃」の存在を自覚することはほとんどありませんから仕方がないのかもしれません。ですが、毎日「胃」を診ている私としては、少々残念な気持ちです。

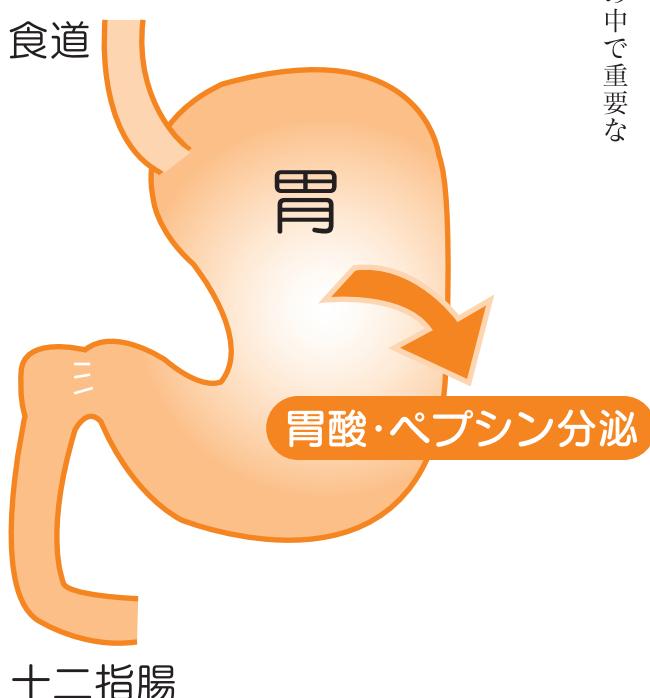
**■ 胃の働き**

私たちの「胃」は、食物をいつたん溜めて、主に胃酸（＝塩酸）とペプシンという消化液を混ぜて粥状にし、吸収しやすい状態にしてから十二指腸に少しずつ送り出します。そのため、一日あたり約2リットルという大量の胃液を分泌して、せんどう運動をしています。脳から直接出ている迷走神経という神経が、運動と分泌の制御という重要な役割を担っています。

ここでは、胃の働きの重要な部分を簡略化して説明しましたが、実際の胃は、もつともっと複雑で、身体の中で重要な役割を演じています。

**■ 終わりに**

胃の働きのバランスがストレスなどの原因で狂つてしまふと、胃がもたれたたり、痛んだりします。そうなつて初めて胃の存在を自覚するのではなく、たまには大切な「胃」をいたわってみませんか。食欲の秋ですからね。





# くすりの話

## Medicine Information

薬局や薬店でお薬を買うときには…



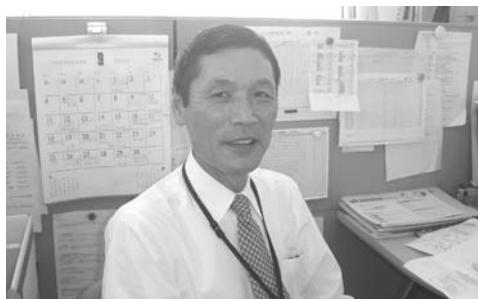
**薬局長・薬剤師  
中村 恭子**  
なかむら きょうこ

医薬品は「医療用医薬品」と「一般用医薬品」の2種類に大別されます。医療用医薬品は、医師が患者さん一人ひとりの症状や体質に合わせて薬を選択し、処方箋により処方される薬で、一般用医薬品は、患者さんが正しい知識に基づいて、自分自身の判断で薬を選択し、医師の処方箋なしに購入することができる薬です。

一般用医薬品は“大衆薬”または薬局や薬店のカウンター越しに販売されることから“OTC(Over The Counter)薬”とも呼ばれます。一般に安全性を重視し、副作用の可能性が低くなるようにつくられているため、効き目が穏やかなのが特徴です。

また、最近では、医療用医薬品の中から比較的安全に使用できると判断された薬が、一般用医薬品へ転用されています。これを“スイッチOTC薬”と言いますが(例えば、CMでよく目にする胃腸薬「ガスター10」など)、医療用医薬品と同様によく効く反面、使用方法や副作用について十分注意を払う必要があります。一般用医薬品を用いて2~3日たっても症状が改善されない場合や、逆に症状が悪化した場合には、使用を中止し、かかりつけの病院に受診するようにしましょう。

## 院内でイチバン電話を受けているのは、このお方!?



**STAFF PROFILE  
総務部長  
山本 道男**  
やまもと みちお

「なんてえ～！」 今日も聞こえるだみ声の主は、山本総務部長です。経理、官庁、営繕に人事関係、その他にもセールスなど全ての電話をさばいていく姿は、まさに事務の要の風格。大きな体に口調もキッパリ、眼鏡の奥から上目づかいの視線にドキリとしますが、疑問点は夜でも休日でも電話をかけて確認するという几帳面な一面も。夜10時には就寝されるそうですが、着任時よりずいぶん体重も落ちてますので、皆さんよろしくお願いしますね。

最後に一言。部長、禁煙されませんか？

紹介者・忠実なる部下

笑顔が絶えない田中さんは、患者さんの評判も上々。おもしろい話題でスタッフを楽しませてくれる外交的なナースです。趣味は旅行で、休日には国内をあちこち出かけてます(お土産ありがとね！)。最近、キャバリア・キングチャールズ・スパニエルという犬を飼い始めたそうですが、お世話はできてますか？仕事の面では「健診センター」「内視鏡センター」「手術室」を担当。りっぱに仕事をこなし、安心して任せられます。田中さんに会いたい方は、3階の健診センターへどうぞ！

紹介者・笑顔の癒し系ナース



**看護師  
田中 知里**  
たなか ちさと

## STAFF PROFILE

## スタッフの横顔

スタッフだけが知っている職員の素顔(?)を紹介するこのコーナー。さて、どんな話が聞けるかな？

# 当院からのお知らせ

## ■恒例となつてある防災訓練を実施しました

7月21日、毎年恒例となつてある職員による防災訓練(消防訓練)が行われました。新病院の防災体制を整えるため、病院設備を再確認しながらの避難訓練や患者さまをシーツに包んで搬送する訓練など、病院火事を想定した実践的な訓練となりました。



## ■面会時間をお守りください

当院に入院中の患者さまへの面会時間は、午後1時から午後7時までとなつております。入院患者さまの安静のためにも、ぜひお守りくださいますようお願いします。

ホームページもご覧ください。

当院の最新情報はホームページで随時更新しています。ぜひご覧ください。



[www.akimoto-hospital.jp](http://www.akimoto-hospital.jp)

## ■「ワゴンサービス」をスタートしました

ファミリーマート薬院2丁目店の協力により、入院患者さまを対象とした「ワゴンサービス」を始めました。月曜日と金曜日の午後に、ワゴンでコンビニエンスストアの商品をお届けします。どうぞご利用ください。



## ■メディアでの紹介が続いています

2005年1月の開院以来、テレビや新聞など各メディアでの紹介が続いています。7月27日付け読売新聞掲載の「患者と医師、同じ目線で」は当院のホームページからもダウンロードできますので、どうぞご覧ください。



医療法人AGIH  
**秋本病院**  
日本医療機能評価機構認定病院  
消化器内視鏡センター・健診センター

### 診療科目

外科(消化器外科)・内科・胃腸科・肛門科・整形外科・脳神経外科・放射線科・心臓血管外科

### 主な検査機器

超音波診断装置・上部・下部消化管内視鏡(電子スコープ)  
CT診断装置・X線透視装置



### 認定・登録

日本医療機能評価機構認定病院・日本外科学会外科専門医制度修練関連施設・福岡市ミニドッグ実施医療機関・福岡市胃がん検診精密検査実施医療機関・福岡市大腸がん検診精密検査実施医療機関・福岡市肝臓がん検診精密検査実施医療機関・福岡市肺がん検診精密検査実施医療機関・乳がん検診実施医療機関・救急告示病院・災害指定医療機関・生活保護法指定医療機関・日本相撲協会指定病院・施設基準「開放型病院」適合病院